



ピロロキノリンキノン二ナトリウム塩 (PQQ) の寿命延長効果を確認

 三菱ガス化学株式会社

2017年7月5日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井 敏磨、以下「当社」）は、名古屋大学大学院（理学研究科 森 郁恵研究室）との共同研究により、ピロロキノリンキノン二ナトリウム塩 (PQQ) による線虫の寿命延長効果を確認いたしました。

当社は、長年蓄積してきた培養技術をベースとして、PQQ を世界に先駆けて商品化しています。

本研究では、PQQ の投与により、寿命研究のモデル生物である線虫「*C. elegans* (カエノラブディティス・エレガンズ)」の平均寿命を最大 30%以上延長することを確認しました。このメカニズムとして、PQQ が *C. elegans* の腸や表皮の活性酸素合成酵素を活性化することで、寿命を延長していることを明らかにしました。

線虫と同様に、ヒト培養細胞を用いた実験系においても、活性酸素合成酵素を活性化することが確認されました。この結果は、PQQ がヒトに対しても寿命延長効果を有する可能性を示唆します。

当社は、本研究をさらに進め、多くの優れた機能を持つ PQQ の拡販により、生き生きとした高齢化社会に貢献するとともに、今後成長が見込まれる「医・食」分野の事業展開を加速してまいります。

※本研究の詳細は、[Journal of Cell Science](#) オンラインにて公開されています。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

広報IR部 TEL : 03-3283-5041